

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

- ・ 3月末から4月初めにかけての人の移動の多かった時期の影響が心配なので、注意が必要。
- ・ 札幌市がステージ4相当であること、特に病床数が高いこと、変異種の感染割合が増えていることなどから考えると、現在の札幌市内における外出・往来自粛、まん延防止等重点措置の府県との往来自粛は、当然と考える。
また、高齢者へのワクチン接種を札幌市内から早急に始めるとよいと考える。
- ・ 感染状況に係る指標について、先週と比較して減少傾向が見られるが、状況が改善しているとは感じられない。
- ・ 札幌市内では感染経路不明割合が増加しており、感染の拡大が懸念される。感染リスクを回避できない場合の不要不急の外出自粛など、現在の対策について強く市民に発信する必要がある。
- ・ 感染拡大地域における未発生の高齢者施設等の従事者への検査については、より積極的に実施してほしい。
- ・ 今月から、高齢者を対象としたワクチン接種が開始されるが、地域の事情によって接種対象者や開始時期が異なることが予想されることから、落ち着いた環境で接種が行われるよう、報道機関に対しても丁寧な情報提供について協力を求めることも必要。
- ・ ワクチンについては、重篤化を防ぐことについて一定の評価が得られているが、感染防止効果については、明確ではないことから、接種後の行動も含め、ワクチンに関する正確な情報を広く周知する必要がある。

2 関係団体の意見

- ・ 来週から高齢者向けのワクチン接種が開始されるとのことであるが、道においては、市町村のワクチン接種に対して万全の支援を行っていただき、可能な限り迅速に接種が行き渡るようお願いしたい。
- ・ 札幌市については、依然として感染が減少せずにステージ4相当の前後で推移している状況。知事においては、札幌市長と連携の上、札幌市民をはじめとする道民や事業者が今一度感染防止に対する緊張感を高め、札幌市内の外出自粛・札幌市との往来自粛などの感染防止対策に前向きに取り組んでいただけるようなメッセージの発信をお願いしたい。
- ・ 既に道においては、外出自粛などの行動制限が要請されている地域との不要不急の往来自粛要請を行っているが、対象都府県名とともに道民に今一度周知徹底していただき、感染が拡大傾向にある他都府県との移動によって北海道の感染が拡大するリスクを抑制してほしい。
- ・ 変異株について、従来の新型コロナウイルスとの違いや、感染防止に向けて特に留意する点、感染後の対応などについて、専門家の知見も踏まえつつ、つまびらかにしていただき、道民や事業者の不安を軽減するような取り組みをお願いしたい。

- ・以下の3点をしっかり広報してほしい。
 - 1 北海道として積極的に変異株のスクリーニングを行っていること
 - 2 人の動きに伴って感染拡大していること
 - 3 変異株と言っても、基本的な対策は変わらないこと
- ・変異株拡大時による医療機関の負担増に対応するため、北海道独自の退院ルールや療養施設への入所ルールを早期に決めておくべきではないか。